

2024年度 神戸学院大学 経済学研究科 入試案内

以下の入試案内を参考にしてください。ただし、経済学研究科の大学院生として修学するために必要な専門知識や思考力・応用力・総合力を問うので、参考文献に記載されていない事項が入試問題に含まれる場合があります。

経済学専攻

筆記専門科目	入試案内
理論経済学	ミクロ・マクロ経済学の学部レベルでの理解が確実かどうかを問います。 参考文献：中谷巖(2007)『入門マクロ経済学』第5版、日本評論社。 西村和雄(1995)『ミクロ経済学入門』第2版、岩波書店。
数量経済学	数量データの整理やモデルの推定についての基本的な理解力について問います。 参考文献：Edward J. Kane (1978)『実践数量経済学入門』 金子敬生、河崎俊二訳ダイヤモンド社。
統計学	統計学の応用分野である計量経済学を学ぶために必要な統計数理の基礎について問います。 参考文献：P. G. ホーエル(1978)『入門数理統計学』浅井晃・村上正康共訳、培風館。
日本経済史	近世、近代、現代の日本経済史で議論されているトピックについて説明できるかを問います。 参考文献：宮本又郎 (2012)『日本経済史』改訂新版、放送大学教育振興会。
西洋経済史	西洋経済史に関する基礎用語を理解し、各国の経済発展についての大まかな流れを理解していれば解答できる問題の出題に心がけています。 参考文献：J・リチャード・ヒックス(1995)『経済史の理論』（講談社学術文庫） 新保 博・渡辺 文夫訳、講談社。
経済政策	経済政策の基礎理論や制度・実践について問います。 参考文献：藤川清史編著(2020)『経済政策入門』、法律文化社。
北米経済論	アメリカの産業、貿易、財政・金融システムの現状と歴史を理解し、政策の役割、効果をミクロ・マクロの観点から説明できるかを問います。特に、金融危機、所得格差、中間層の没落、製造業の競争力などのトピックスを重視しています。 参考文献：宮田由紀夫・玉井敬人 (2018)『アメリカ経済論入門』第2版、晃洋書房。
国際貿易論	国際貿易の基礎理論と貿易政策の問題を理論的に説明できるかを問います。 参考文献：クルーグマンほか(2017)『クルーグマン国際経済学 理論と政策 上:貿易編』、丸善出版。
労働経済学	労働経済学の基本的な理論を理解し、論理的に説明できるかを問います。 参考文献：川口大司 (2017)『労働経済学』有斐閣

<p>社会保障論</p>	<p>社会保障制度(特に、年金、医療、公的扶助)の基本的な仕組みを理解し、論理的に説明できるかを問います。 参考文献:駒村康平・山田篤裕・四方理人・田中聡一郎・丸山桂(2015)『社会政策:福祉と労働の経済学』(有斐閣アルマ)、有斐閣。</p>
<p>財政学</p>	<p>財政学全般についてある程度の知識を有していることが求められますが、とくに、租税、公債、及び地方財政の分野に関して、その制度と仕組みを理解し、経済学の理論に基づき政府活動のあり方を論理的に説明できるかどうかを問います。 参考文献:土居丈朗(2021)『入門財政学 第2版』、日本評論社。</p>
<p>金融論</p>	<p>貨幣・金融仲介機関・金融政策などに関する標準的な知識があるかを問います。 参考文献:大野早苗他(2007)『金融論』有斐閣ブックス 酒井良清・前多康男(2003)『新しい金融理論』有斐閣</p>
<p>産業組織論</p>	<p>産業組織論の基礎を理解し、理論を用いて企業行動などを説明できるかを問います。 参考文献:泉田成美・柳川隆(2008)『プラクティカル産業組織論』(有斐閣アルマ)、有斐閣。</p>
<p>企業経済論</p>	<p>企業経済論では、経営管理の基礎理論を中心に出题します。テイラーの科学的管理法、マックス・ウェーバーの官僚制組織論、人間関係論、バーナードの組織論等、主要な諸理論について論理的に論述できるかを問います。また、多国籍企業の戦略課題、BOP ビジネス、CSR、企業倫理、中小企業論といった現代企業の諸課題についても理解していることが好ましいです。そして、企業と技術発展についての議論についても理解しておいてほしいと思います。例えば、ITによって経営はどう進化したか、そして、人工知能(AI)の導入によって、経営はどのように進化していくのかについての議論を理解しておいてください。 参考文献:佐久間信夫編著(2017)『よくわかる企業論(第2版)』ミネルヴァ書房。 佐久間信夫・大平義隆編著(2016)『新 現代経営学』学文社。</p>
<p>ファイナンス論</p>	<p>加重平均資本コスト(WACC)、正味現在価値(NPV)、定率成長配当割引モデル(DDM)、割引現在価値法(DCF)などに関する基本的な計算ができ、企業価値やコーポレートガバナンスの基本的な考え方を理解しているかどうかを問います。 参考文献:砂川伸幸(2017)『コーポレートファイナンス入門(第2版)(日経文庫)』日本経済新聞出版 砂川伸幸・笠原真人(2015)『はじめての企業価値評価(日経文庫)』日本経済新聞出版</p>
<p>経済情報システム論</p>	<p>IT パスポート試験程度の情報技術に関する基礎的な知識があり、それらと社会との関わりを説明できるかどうかを問います。 参考文献:IT パスポート試験シラバス https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html</p>

経営学専攻

筆記専門科目	入試案内
<経営学理論系>	
経営学原理	<p>経営学における基本的な理論とその変遷、また経営の実践について論理的に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：上林憲雄ほか（2007）〔編著〕『経験から学ぶ経営学』有斐閣。</p>
中小企業論	<p>中小企業論に関する基礎的・基本的な知識の理解度を確認し、基本的事象について簡潔・的確に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：植田浩史ほか（2014）『中小企業・ベンチャー企業論』新版（有斐閣コンパクト）、有斐閣。</p>
<経営管理系>	
労務管理論	<p>労務管理の基本的な理論を理解し、制度・実践について論理的に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：松田裕之(2006)『物語 経営と労働のアメリカ史 —— 攻防の1世紀を読む —— 』現代図書。</p>
経営戦略論	<p>経営戦略の基本的な理論を理解し、経営戦略の実践について論理的に説明できるかを問います。また、戦略自体だけでなく、戦略と組織との関わりや、組織の中で実際に戦略はどのように形成され、実行・実現されていくのか、などについても問います。</p> <p>参考文献：田中康介ほか(2006)『経営学検定試験公式テキスト(2)経営戦略と組織』中央経済社。産能大学経営研究会：田中康介ほか(2000)『現代企業と経営』産能大学出版部。ゲイリー・ハメルほか(1995)『コア・コンピタンス経営』日本経済新聞社。ジェイ・B・バーニー(2003)企業戦略論【上】【中】【下】』ダイヤモンド社。デビッド・J・コリスほか(2004)『資源ベースの経営戦略論』東洋経済新報社。</p>
企業金融論	<p>企業の資金調達方法や金融仲介機能などについて論理的に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：中島真志（2015）『入門企業金融論』東洋経済新報社。</p>
マーケティング論	<p>マーケティング論の基本的な理論を理解している上で、特にプロモーションに対する実践例（キャラクター活用、地域ブランド政策）などが論理的に説明できることを問います。また、SDG sを意識した商品に関する考察ができることも問います。</p> <p>参考文献：辻幸恵・梅村修・水野浩児（2009）『キャラクター総論—文化・商業・知財—』白桃書房。</p> <p>池尾恭一・青木幸弘・南知恵子・井上哲浩（2010）『マーケティング』有斐閣。</p>

流通システム論	<p>流通システムの基本的な仕組みを理解し、理論・実践について論理的に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：高嶋克義(2012)『現代商業学 新版』有斐閣アルマ。</p> <p>矢作敏行(2021)『コマースの興亡史 商業倫理・流通革命・デジタル破壊』日本経済新聞出版。</p>
---------	---

<会計学系>	
財務会計論	<p>下記の参考文献を基に、発生主義会計の理論、資産・負債の認識および測定に関する理論につき、基礎的な内容を問います。</p> <p>参考文献：藤井秀樹(2017)『入門財務会計』第2版、中央経済社。</p>
国際会計論	<p>国際財務報告基準の規定内容および日本の会計基準との相違点を問います。</p> <p>参考文献：桜井久勝編著(2018)『テキスト国際会計基準 新訂版』、白桃書房</p>
会計学	<p>会計学（財務会計分野）、サステナビリティ基準、非財務情報の開示制度、無形資産会計などに関する基礎的な理解度と論理的説明力を問います。</p> <p>参考文献：桜井久勝著『財務会計講義（最新版）』中央経済社（2023年4月現在）。</p> <p>渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『検定簿記講義 1級商業簿記・会計学（上巻・下巻）（最新年度版）』中央経済社（2023年4月末現在）。</p> <p>島永和幸著『人的資本の会計－認識・測定・開示－』同文館出版、2021年。</p>
管理会計論	<p>管理会計における基本的な考え方や、管理技法に関して説明ができるかどうかを問います。計算問題を、問うことはありません。</p> <p>参考文献：櫻井道晴(2015)『管理会計』第6版、同文館出版。</p> <p>吉田康久(2016)『管理会計基礎論』中央経済社。</p>
<経営科学系>	
経営科学	<p>オペレーションズ・リサーチの基本的理論を理解し、経営問題の定式化および解法についてどこまで使えるのかを問います。</p> <p>参考文献：長畑秀和(2002)『OR へのステップ』共立出版。</p>
最適化理論	<p>線形計画をはじめとした数理計画全般の基本概念や、近似解を求めるための代表的なアルゴリズムに関する理解度、また実問題を定式化する能力を問います。</p> <p>参考文献：一森哲男（1994）『数理計画法』（共立出版）</p>
システム分析論	<p>企業のビジネスモデルについて、その構造を明らかにし、問題点、改善策について問います。</p> <p>参考文献：玉木欽也(2018)『ビジネスモデル・イノベーション 未来志向の経営革新戦略』、中央経済社</p>

経営情報システム論	<p>経営情報システムの活用方法としてのデータ包絡分析法 DEA の基本的な考え方や活用について理解し、理論と実践について論理的に説明できるかを問います。</p> <p>参考文献:Wade D. Cook, Joe Zhu (著), 森田 浩 (翻訳)(2014)『データ包絡分析法 DEA』、静岡学術出版</p>
情報管理論	<p>データベース基本概念の理解、データベースを用いた応用システムにおける論理設計と、複数のユーザが利用する環境下でのデータベース運用に関して問います。</p> <p>参考文献：石川博（2008）『データベース』 森北出版。</p>
応用社会システム論	<p>コンピュータシミュレーションにおける基本的なモデル化と技法についての理解、およびその具体的な応用例や限界について説明できるかを問います。</p> <p>参考文献：伊藤俊秀・草薙信照(2006)「コンピュータシミュレーション」、オーム社。</p>